



旅つれづれ

中島 静子

年を重ねるといことは無理をしない、背伸びをしない生活に慣れるということ。若いころは、体力の許す限り気力に任せて厳しい旅を計画し、実現してその達成感に酔ったものだが、いまは、気の向くまま成り行きにまかせて、のんびり楽しむ旅が多い。

旅先には、神社・仏閣・歴史の刻まれた地を選ぶことが多い。候補地が決まれば後は情報の収集。図書館のガイドブックやインターネット、旅先の観光課から資料を取り寄せて、しばし机上の旅を楽しむ。近辺に山や海さらに温泉でもあれば言うことなしである

私は海外旅行を楽しんだ若いころからそうであったが、最近特に束縛のないひとり旅が多い。ジーパンにスニーカー姿もすっかり板につき、思いついたらふらりと気軽に出かける。家族と一緒に生活は倅せではあるが、残り少ない人生を安閑と過ごすのは惜しい気がして、未知の世界はもとより、熟知している土地にも足を運び、新たな感動を呼び覚ますことで、生きているという実感に浸るのである。その旅の中から趣味にしている短歌や俳句の素材が見つければ、それは僥倖である。

また、ひとり旅ならではの喜びのひとつに、思いがけない出会いがある。こちらが一人旅と知ると、胸襟を開きお互いのさりげない心配りから、旅先ならではの友情が生まれるものである。独り旅同志一期一会と心得た上でのお付き合いは、グループ旅では決して得られない親近感を呼ぶ。

- ・山小屋の窓辺に寄りてアラスカの星空仰ぐ一会の人と
- ・ガス灯の灯る茶房に行きずりの人と語り^{うた}啄木の短歌

私は、同好の人たちと『あすなろ短歌会』を結成して十数年なる。その方たちも旅という共通の趣味を持つ。旅の感動を短歌に託すのは喜びであり、記憶の底にいつまでも残る言葉の力といえる。

- ・ブナ林に夕日射しこみ木造の一軒宿をやさしく包む
殿塚明子
- ・城崎の人とふれ合う地蔵の湯互いの訛りに笑いが起こる
星野愛子

短歌は一生続けられる日本古来の文学である。あすなろ短歌会は広く門戸を開き、皆様の入会をお待ちしています。初心者・経験者を問わずどうぞお気軽に声をお掛けください。

(なかじま しずこ／茨城県短歌協会理事)

7月の予定

- おはなし会 午後3時から児童室

7月14日(日)
『しましまのティーシャツをきてみたら』
『ながぐつをはいたねこ』

7月21日(日)
『とべバツタ』
『つるのおんがえし』

- たなばたまつりが開催されます！
7月3日(水曜日) 午前10時～12時
七夕かざりをつくったり、たんざくに願い事を、書きましょう。
他にも、歌、手遊び、紙芝居などもあります。
- おもしろ理科先生「飛べ！ポストカードグライダー」
古いはがきと割りばしを利用して、よく飛ぶ飛行機を作ります。
日時：7月28日(日) 午前10時～12時 受付：9時30分～(雨天決行)
場所：明野図書館(視聴覚室に集合してお話しと作成→屋外で飛ばす)
費用：材料費として1人40円 持ってくるもの：はさみと、クーピーか色鉛筆
対象：小学生(2年生までは保護者同伴)、36名限度
申込：明野図書館に直接又は電話でお申込みください。(7月2日～23日まで)
- 開架室にパソコン用電源を設けました。ご利用ください

図書館カレンダー

7月 JUL						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

8月 AUG						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ーくらしに生かそうみんなの図書館ー 明野図書館 TEL:0296-52-2466

花さき山のホームページアドレスは、
<http://library.city.chikusei.lg.jp/hanasakiyama/index.html> です。